ＳＯＳの出し方に関する教育　授業案①（小学校４～５年生）

対象学年：小学４年生～小学５年生

ねらい　：様々な場面における自分の気持ちの伝え方について考えることを通して、自分と相手の双方を尊重した効果的な気持ちの伝え方を身に付けることができる。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 活動・内容 | 留意点・スライド番号 |
| 導入５分 | １　本時のねらいを確かめる〇自分の気持ちを相手に上手に伝えられているか振り返ることで、いつもどのような伝え方をしているかについて、自分自身の問題として捉えられるようにする。よりよい自分の気持ちの伝え方について考えよう。 | ・〔スライド１〕・〔スライド２〕＜留意点＞気持ちが上手く言えなかったり、けんかになったりした経験を想起させる。 |
| 展開35分 | ２　上手な伝え方①「２つのメッセージ」について理解する。　〇一人だけ掃除をちゃんとやっていない子がいた場面を想定し、自分なら何と言うかを考える。〇伝え方を「あなたメッセージ」と「わたしメッセージ」の２つに分類し、【ワーク①】に取り組む。　・あなたメッセージ「ちゃんと掃除してよ。」　・わたしメッセージ「ちゃんと掃除してほしいな。」〇グループで二つの伝え方を交流し、①それぞれ言われた時どのような気持ちになるか、②どちらのメッセージの方がよいと思うか、検討する。〇「わたしメッセージ」のよさを共有し、「わたしメッセージ」が言えるように練習をする。 | ・〔スライド３～８〕＜留意点＞活動が停滞している児童には、２つのメッセージの違いを再度説明する。＜練習テーマの例＞・私語をしている子に・なかなか座らない子に |
| ３　上手な伝え方②「３つの伝え方」について理解する。　〇〔スライド９〕から、３つの伝え方について、その違いを理解する。　〇ペンを貸したくない場合の言い方について、グループで実際にやりとりをしながら、３つの伝え方のどれに当てはまるか検討する。〇【ワーク②】に取り組む。〇３つの伝え方それぞれについてグループで検討する。　　・攻撃的：委員会の話合いに何で来ないの。　　・受身的：委員会の話合いに来てくれなくて困ったよ。　　・ｱｻｰﾃｨﾌﾞ：君の意見が聞けなくて残念だったよ。みんなでよりよい委員会活動にしようよ。 | ・〔スライド９〕・〔スライド１０・１１〕・〔スライド１２〕・〔スライド１３・１４〕アサーティブ･･･相手の気持ちを考えながら、自分の気持ちや意見を正確に伝えること。 |
| 終末５分 | ４　本時のまとめをする。〇【ワークシート】に感想をまとめる。 | ・〔スライド１５〕・〔スライド１６〕 |